香川県農業試験場研究報告　第 37 号(1985 年 12 月)　 55-65

ハウスミカンの温度管理と生長周期について

原田豊・銭長発※・井上宏※

1978～82 年に,香川県坂出市および三木町のハウスミカン園(カラタチ台の宮川早生および興津早生)において,ハウス内の気温および地温の推移を観察するとともに,新梢,果実,根の生育状態を調査した

１．12 月中旬に加温を開始したハウスミカン園では, ハウス内の最低温度と最高温度は 12 月下旬～翌年 1 月中旬にはそれぞれ 18～19℃および 27～28℃に,1 月下旬～2 月中旬にはやや温度を下げて,同じくそれぞれ 15～16℃および 24～27℃に,2 月下旬～3 月には 20℃前後および 28℃前後に,4 月以後は 22℃前後および 30℃前後に設定し,ほぼこれに近い温度に保たれた。外気温の上昇とともに 5 月下旬に加温を停止した。

ハウスミカンの新梢の発芽・伸長,開花・結実の時期には外気は 1～2 月の厳寒期に当たるのにもかかわらず,地温は 18℃前後に保たれた。

２．加温開始後約 20 日の 12 月末から 1 月始めにかけて発芽した春枝は 1 月上旬～2 月上中旬に伸長した。1 月中旬～2 月上旬に開花し,2 月～6 月にわたって果実が発育し,6 月中旬～7 月下旬に成熟し,収穫された。果実の収穫が終了し,被覆したビニールを除去した後,多数の夏枝が発生,伸長した。

３．1 月 20 日頃に花が満開になったハウスミカン樹は,1 月 30 日前後に生理的落果のピークがあらわれ,その後,わずかながら落果が続き,4 月 5 日頃終了した。

４．ハウスミカンの根(カラタチ)は,1 月中旬から 10 月上旬まで,時期によって多少はあるが,長期間にわたって伸長した。果実収穫後多数の夏枝が伸長した園では同時に多くの根の伸長がみられたが,この時期にかん水を控えるなどして,夏枝の発生をおさえた園では新根の発生はごくわずかであった。